

聖水飲ませて稼ぐ JK

登場人物

神山明日香（15）

都内の有名な女子校「表参道女子学園」に通う美人 JK、中学時代はクラスの男子全員に告白されるほどの美貌も持っていてクラス一番の美少女だ。

滝沢日菜子（15）

明日香の幼馴染。彼女にはとある秘密が。その秘密を知っているのは明日香だけ。

序章 ふたりの秘密

東京でも一二を争うほど有名な女子校「表参道女子学園」顔面偏差値も高く、女優やモデルをしている生徒も多い。女子校であるが先生はイケメンばかり。なかでも国語教師の中山先生は有名アイドル事務所「ジョイフルズ」のジョニー北山からスカウトされるほどのイケメンだ。そんな学園でも一二を争うほどの美貌を持つのが1年生の神山明日香。そして幼馴染の滝沢日菜子も負けず劣らずの美少女だ。そんな二人は隣同士の席で、いつもたわいもない会話をしている。入学して半月ほどが経った4月の半ば、日菜子がこんなことを言い出した。

「ねえ、このアプリ知ってる？」 そういいながら日菜子はとあるアプリを見せた。

「何それ。」と明日香。

「ここじゃあれだからトイレで話そう。」と日菜子

そして二人はトイレに向かった。

「このアプリ、聖水クラブっていうんだけど、男の人におしっこを飲ませるだけでお金が稼げちゃうんだよ。飲ませ子っていうのに登録すると人におしっこを飲ませるだけでお金が稼げる。飲ませ子の男女比は男1割の女9割でそのうちの7割が30歳以下の若者よ。中には80歳っていうのもいるけど80代はそのおばあちゃん一人だけで一番多いのは20代前半で次に多いのが高校生。高校入学とともに登録できるから、マニアからすれば現役JKのおしっこが飲めるとしてこのアプリは重宝されているみたいだよ。」と日菜子は笑顔満点で言う。

「それで日菜子はいつ登録したの？」と明日香。

「先週の月曜日、登録とともに通知が鳴りやまなくて、月曜の夜だけで10万も稼いじやった。」日菜子がニコニコしながらそう言った

「そんなに！？そのお金はどうしたの？」明日香は驚きが隠せないようだ。

「そのうちの2万円はボーナスとか適当にごまかしてお母さんに渡して残りで服を買ったわ。それに家に家族がいる場合は、専用のきれいなお部屋を貸してくれるの、その貸出量は1回1000円だけど、少し人気な子は何回も借りてるし、すごく人気な子は専用のマンションを買えるくらい稼いでいるのよ。」と日菜子

「でも、法律的に大丈夫なの？」と明日香。

「アプリを管理している会社は海外にあるから海外の法律が適用されるみたいだから大丈夫。」と日菜子。

「そうなんだ、登録してみようかな。」と明日香。

「聖水クラブってアップストアで検索してみな。」と日菜子

「あった。」明日香もさっそくダウンロードした。

5分で登録完了だから。

「名前と年齢と住んでいる地域を入力して…。できた。プロフィール写真!？」と明日香。

「カメラを起動して今撮影するの。いくよ。最高の笑顔でね」と日菜子。

写真を登録すると日菜子は説明を始めた。

「次は活動できる時間よ、飲ませ子タイムカードっていうのをタップすると緑色になってもう一度タップすると白に戻る。一日に何度も変えられるから。緑になっているときは活動できるという証、それに専用の部屋は主要な駅の近くや住宅街とかいろいろな場所にあるの。アプリの中の地図のマークをタップすれば近くのレンタルスポットを探せるの。緑のマークは空室、赤いマークは貸し出し中よ。」と日菜子。

「わかった。」と明日香。

「通知を ON にしておきな。」と日菜子。

キーンコーンカーンコーン!

「授業が始まる、行かなくちゃ。」

第一章 放課後は稼ぎ時

その日の午後の授業もあっという間に終わり放課後を迎えた。

「タイムカード押して。」と日菜子

「わかった。」と明日香。

それから10分もしないうちに通知が来た。

「あ、依頼が来たわ、貸出場所は表参道の駅の近くの雑居ビルにするわ、そこはアプリ会社が所有するビルで、専用のスペースがいくつもあるの。2階はトイレの個室ぐらいの狭さ部屋がいくつもあるの。「おトイレプレイ」はそこです。今回の私のお客様はおトイレプレイ希望だから行かなくちゃ。」と日菜子。

「あ、私にも通知が来た。私もおトイレプレイだわ。それにその雑居ビル、全部緑だわ。私もそこにする。」と明日香。

そして二人はアプリ会社の所有するビルへと向かっていった。